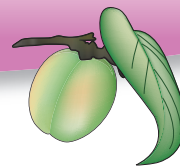


濁度測定装置による検出に対応しました

プラムポックスウイルス検出キット Ver.2 for Turbidimeter



plum pox virus Detection Kit Ver.2 for Turbidimeter

製品名	包装単位	希望納入価格(税別)	Code No.
プラムポックスウイルス検出キット Ver.2 for Turbidimeter	48テスト用	36,300円	NE0131
	480テスト用	275,000円	NE0133

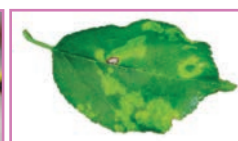
製品説明

本キットは、LAMP法を利用してプラムポックスウイルスを検出するキットです。プラムポックスウイルスゲノムの一部を増幅し、増幅の有無からプラムポックスウイルスの存在を判定します。検出に必要な操作は、プラムポックスウイルスの存在が疑われるウメの葉を専用の抽出液中で磨碎して爪楊枝を浸し、爪楊枝に付着したサンプルを検査溶液に添加した後に65℃に1時間保温するのみであり、きわめて簡便です。判定にはDNA増幅の有無を白濁の発生によりモニターするリアルタイム濁度測定法を採用しており、DNA増幅反応から検出までを同一反応チューブ内の完全閉鎖系で行うため、安全に短時間でプラムポックスウイルスを検出することが可能です。

【プラムポックスウイルス (plum pox virus)】

プラムポックスウイルス (plum pox virus) は、モモ、ネクタリン、プルーン、スモモ、アンズ、サクランボなどのサクランボ属の果樹に甚大な被害を与える植物ウイルスであり、近年、世界的に発生が拡大しています。サクランボ属の果樹では、感染により果実の早期落果や奇形、花弁への斑入り症状が起こる事例が知られています。

我が国では、2009年3月に東京大学植物病院において、これまで世界でも自然感染の例が無かったウメからプラムポックスウイルスが検出されました。プラムポックスウイルスは接木の他、アブラムシにより媒介されることから、病気が発生した園地では感染植物の除去、ウイルスを媒介する可能性のあるアブラムシの防除を徹底する等、防除策を講じる必要があります。罹病樹から健全樹への感染拡大を防止するためには罹病樹の早期発見、除去が不可欠となります。



上:ウメの葉の病徴部に見られる輪紋
左:ウメの花に現れた斑入り症状

本キットの商品名には、plum pox virusの英名の発音に従って「プラムポックスウイルス」を使用しております。本ウイルスの和名およびその感染によるウメの病名(和名)は、日本植物病理学会により2010年にそれぞれ「ウメ輪紋ウイルス」および「ウメ輪紋病」に決定されています。

特長

- ▶ **核酸の精製が不要**
ウメの葉の磨碎液から直接ウイルスを検出しますので、核酸の精製は必要ありません。
- ▶ **シンプルな使用方法**
ウメの葉を磨碎して爪楊枝でサンプリングし、検査溶液に浸して65℃で1時間保温するだけで検査できます。
- ▶ **明確な判定方法**
検査溶液の白濁の生成により判定を行いますので、簡単に陰性、陽性を判別できます。また、リアルタイム濁度測定装置を用いることにより、多検体の処理が可能となります。
※目視による蛍光検出で判定を行う場合には、従来品をご利用下さい。
- ▶ **検査環境の汚染リスクを低減**
電気泳動などの操作による汚染の心配がありません。
- ▶ **リライアブル&トレーサブルオリゴを使用**
高信頼性オリゴヌクレオチドがプライマーとして含まれています。

キット内容

- PPVv2T検査液①
- PPVv2T検査液②
- PPVv2T酵素液
- PPVv2T抽出液
- PPVv2T陽性コントロール
- 取扱説明書



使用方法

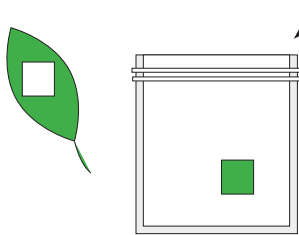
サンプルの準備

- ウメ葉から葉脈を含む部位を採取する



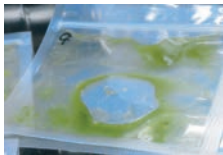
2 cm x 2 cm

- 葉を丈夫なバッグに入れPPVv2T抽出液を添加する



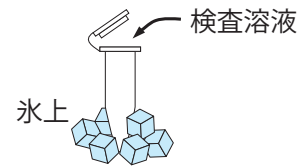
PPVv2T抽出液 1.3 ml

- 硬く滑らかな器具を用いて十分に磨砕する



使用方法

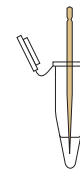
- 検査溶液を必要量まとめて作製する



- 検査溶液を分注する

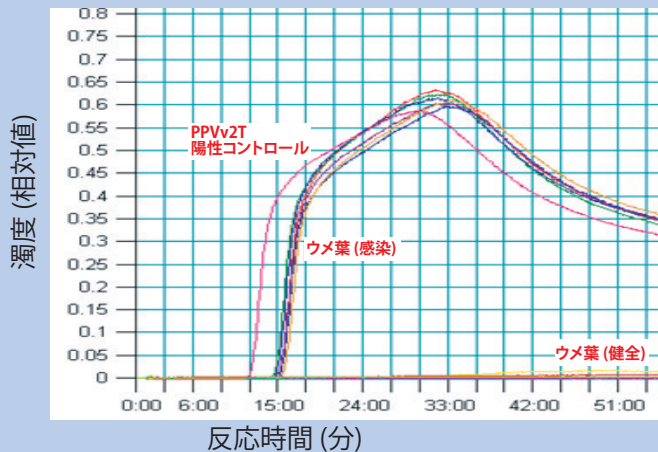
- 爪楊枝の先端を磨砕した葉サンプルに浸す

- 前記の爪楊枝を検査溶液に浸す



- 濁度測定装置で65°C、1時間保温する (検査反応)

参考データ: 本キットを用いたリアルタイム濁度測定の結果



- リアルタイム濁度測定装置LA-200使用
- 65°C (ホットボンネット連動)、1時間

<結果>

感染ウメ葉サンプルから15分程度で
プラムボックスウイルスのRNAが検出された



関連製品

製品名	包装単位	希望納入価格 (税別)	Code No.
プラムボックスウイルス検出キット	48テスト用	47,900円	NE0071
	192テスト用	182,000円	NE0073

製品補足

- ※1 本キットに含まれるプライマーは、全て「リライアブル & トレーサブルオリゴ」を使用しています。「リライアブル & トレーサブルオリゴ」は、株式会社ニッポンジーンマテリアルが製造する高信頼性オリゴヌクレオチド「リライアブルオリゴ」の一つです。ISO 13485:2003 に準拠した品質マネジメントシステム、専用陽圧ルームでの製造、チェックリストによる工程管理、トレーサビリティ完備を特長としています。詳細に関しましては、株式会社ニッポンジーンマテリアルホームページ (<http://www.nippongenematerial.com/>) をご参照ください。
- ※2 LAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法は栄研化学株式会社が特許を保有しています。株式会社ニッポンジーンはLAMP法を用いたプラムボックスウイルス検出用試薬の開発、製造、及び販売を許諾されています。

ご購入に関しては e Genome Order をご利用下さい

富士通Japan株式会社
e Genome Order事務局

[TEL] 0120-202-294
[URL] <https://genome.e-mp.jp>
[E-mail] contact-egenome@cs.jp.fujitsu.com

性能等・技術的なご質問は以下にお問い合わせ下さい



株式会社ニッポンジーン

[Address] 〒930-0834 富山県富山市問屋町二丁目7番18号
[TEL] 076-451-6548 [FAX] 076-451-6547
[URL] <https://nippongene-analysis.com>
[E-mail] support@nippongene-analysis.com